

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	呼吸管理バッグを病院へ置き忘れ
3. 体験した事例の中心的要素	救急隊の呼吸管理バッグ(携帯酸素ボンベ入り)を使用しつつ病院内に傷病者を収容。院内ですぐに病院の酸素に切り替えをし、呼吸管理バッグをその場に置き医師へ傷病者を引き継ぎ。呼吸管理バッグを置き忘れたまま帰署したもの。たまたまその後に同じ病院へ搬送した当消防本部の別の救急隊から連絡をもらい、その時に初めて置き忘れたままであったことに気付いたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	適宜実施すべき資機材の点検・確認を怠ったために発生したもの。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年1月17日 午前0時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内：傷病者を収容した病院内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：呼吸管理が必要な救急事案が発生した場合、実施できない。
7. 事例体験時の活動	救急 その他：収容した病院から引き揚げる時。
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	病院へ引継
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[57]歳、勤続年数[39]年、現場経験年数[39] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者C	年齢[42]歳、勤続年数[19]年、現場経験年数[19] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者C	呼吸管理バッグを背負って	
経過2	当事者A・B・C	ストレッチャーを曳航し傷病者を病院収容	
経過3	当事者A・B・C	病院のストレッチャーに傷病者を移動	
経過4	当事者A・C	救急車にストレッチャーを戻し、資機材整理	
経過5	当事者B	呼吸管理バッグを下ろしその場に置き、傷病者を医師へ引継ぎ	
経過6	当事者B	救急車へ戻る	
経過7	当事者A・B・C	そのまま帰署	
経過8	他の救急隊	病院に呼吸管理バッグがあるのに気づき電話	
経過9	当事者A・B・C	呼吸管理バッグの置き忘れに気づき、予備の機材を積載する	
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けた。 たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



呼吸管理バッグ内容

- ・酸素ボンベ（1．5 L）
- ・BVM
- ・インハレーター
- ・LT
- ・経鼻／経口エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・その他